

令和5年度 放課後等デイサービス ピュアピース 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	該当なし	自由記載	備考
体 環 境 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。		○				・15名利用だと少し狭い ・ワンフロアで目が届くが、大きな柱や簡単に移動できないものがあり、狭く感じることがある ・運動遊びの時はもう少し広いスペースがあると活動の幅が広がると思う。その他の活動時は適切である。	
	②	職員の配置数は適切であるか。	○						
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○				車椅子を使用している児童がいないが、いる場合を考えると狭く、和室には行けない。	
業 務 改 善	④	業務改善を進めるため職員間で課題を抽出し、解決に向けて取組み、振り返りをしているか。	○				週1回ミーティングを行い、情報を共有している		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○				今回保護者の意向を受け、LINEを始めたことはよかった。	管理者はどのような意見だったかを把握しているが、それ以外の職員はHPで各々が確認しないとわからないので、年度初めに振り返りの時間を設け、全体で確認して皆で情報共有する時間があってもよいと思う。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか。	○						
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。		○				・ケース会議の件数が多く難しい部分はあるが、もう少し研修は多い方がよい。	
	⑨	活動プログラムの立案等を職員同士で相談できる環境があるか。	○						
適 切 な 支 援 の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					・アセスメントを定期的に行う必要があるが、なかなかできていない。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○						
	⑫	活動プログラムは、色々な活動の提供を行い工夫されているか。	○						
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めて細やかに設定して支援しているか。		○				・課題を決めているかと言われると不明 ・「課題」と「細やか」については疑問が残る	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○						
	⑮	その日の支援を開始する前に職員間で確認をし、支援の内容や役割分担について確認しているか。	○					・「支援終了後」と言われると・・・ ・話ができる状況の時は行っている ・その日は難しいが、次の日やミーティング時に振り返りや情報共有できている。 ・日による	
	⑯	支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○				・話ができる状況の時は行っている ・その日は難しいが、次の日やミーティング時に振り返りや情報共有できている。 ・日によるところがある。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○						
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○						
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	○					・地域交流の機会がもう少しあってもいいのではないかと思う。	
⑳	個別支援計画・支援について・障がいへの理解に関する研修を実施しているか。	○							

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○						
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○					・下校時間が保護者を通さなくてもわかるように学校とのやりとりができるようになるとよい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。					○		
	㉓	就学前の様子を保護者・関係機関との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○						
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。					○		
	㉕	地域の小学校・中学校・高等学校等の児童生徒との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか。		○					・小学生は体力作り時に大積小学校の児童と交流することがある。 ・公園や大積児童館の児童とたまに交流がある程度、イベントやプログラムがある訳ではない。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○						
	㉗	支援の視点から、保護者に対して助言・指導等の支援を行っているか。	○						
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担額などについて丁寧な説明を行っているか。	○						
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○						
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○						
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○						
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○						
	㉝	個人情報に十分注意しているか。	○						
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか。	○						
非常時等の対応	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○						
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル策定し、職員や保護者に周知しているか。		○					・感染防止は作成したが、まだ周知していない ・コロナが流行していた際は、その都度マニュアルが変更になったなど、告知があったが、現在はどのようになっているかわからない。 ・「周知」はされていないように感じる。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○						・もう少し回数を増やした方がよい ・長期休み時に児童と一緒にいるが、職員だけで行う事も定期的にあった方がよいと思う。
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○						
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。					○		
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。					○		
㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○							